

フルカラーでわかりやすい
第二種電気工事士らくらく学べる筆記＋技能テキスト 改訂4版5刷 正誤表

2025年12月8日改訂第4版第5刷発行
コード：21458 作成日：2026年8月10日

箇所	誤	正
23 ページ 4 行目の式 文字右端の欠け	$\text{最大値} = \sqrt{2} \times \text{実効値}$ ↑	$\text{最大値} = \sqrt{2} \times \text{実効値}$ ↑

フルカラーでわかりやすい
第二種電気工事士らくらく学べる筆記＋技能テキスト 改訂 4 版 4 刷 正誤表

2023 年 11 月 2 日改訂第 4 版第 4 刷発行
コード：21458 更新日：2026 年 8 月 10 日

箇 所	誤	正
23 ページ 4 行目の式 文字右端の欠け	最大値 = $\sqrt{2}$ × 実効値 ↑	最大値 = $\sqrt{2}$ × 実効値 ↑
51 ページ 問題のヒント：問 37	$\cdots I = \frac{V^2}{R} \cdots$	$\cdots I = \frac{V}{R} \cdots$
360 ページ右段 問 7 解説文 6 行目	≒ 207 A	≒ 207 <u>V</u>

フルカラーでわかりやすい
第二種電気工事士らくらく学べる筆記＋技能テキスト 改訂 4 版 3 刷 正誤表

2022 年 1 月 11 日改訂第 4 版第 3 刷発行
コード：21458 更新日：2026 年 8 月 10 日

箇 所	誤	正
23 ページ 4 行目の式 文字右端の欠け	最大値 = $\sqrt{2}$ × 実効値 ↑	最大値 = $\sqrt{2}$ × 実効値 ↑
51 ページ 問題のヒント：問 37	$\cdots I = \frac{V^2}{R} \cdots$	$\cdots I = \frac{V}{R} \cdots$
360 ページ右段 問 7 解説文 6 行目	≒ 207 A	≒ 207 <u>V</u>

フルカラーでわかりやすい
第二種電気工事士らくらく学べる筆記＋技能テキスト 改訂 4 版 2 刷 正誤表

2019 年 12 月 6 日改訂第 4 版第 2 刷発行
コード：21458 更新日：2026 年 8 月 10 日

箇 所	誤	正
23 ページ 4 行目の式 文字右端の欠け	$\text{最大値} = \sqrt{2} \times \text{実効値}$	$\text{最大値} = \sqrt{2} \times \text{実効値}$
51 ページ 問題のヒント：問 37	$\cdots I = \frac{V^2}{R} \cdots$	$\cdots I = \frac{V}{R} \cdots$
79 ページ 問 15 選択肢口：4 行目	で、設置工事を省略した。	で、 <u>接地</u> 工事を省略した。
144 ページ 問 15 問題文：1 行目	低圧電路に使用する定格電	低圧電路に使用する定格電 <u>流</u>
178 ページ 上から 9 行目	・電線と造営材との離隔距離は、6000V 以下の	・電線と造営材との離隔距離は、 <u>展開</u> <u>した場所</u> で使用電圧 6000V 以下の
238 ページ 表中央列 上から 4 ブロック目	内臓スイッチ	内 <u>蔵</u> スイッチ
250 ページ 上から 12 行目	各材料の使用例は P168 …	各材料の使用例は <u>P169</u> …
252 ページ 上から 17 行目	各材料の使用例は P160 …	各材料の使用例は <u>P161</u> …
259 ページ 問 22 の選択肢	イ. R □. B ハ. 1 ニ. 0	イ. R □. B ハ. <u>I</u> ニ. <u>O</u>
266 ページ 左段 上から 4 ブロック目 名称, 用途, 図記号	名 称 15A・20A 兼用コンセント	名 称 15A・20A 兼用 <u>接地極付き</u> コンセント
	用 途 接地極と接地端子が付属して いるコンセント	用 途 接地が必要な器具のコンセントと して用いる(定格 15A・20A 兼用).
	図記号 	図記号 
328 ページ 下段左側 写真の説明文：1 行目	握りなおさずに引っ張ると被服に	握りなおさずに引っ張ると <u>被覆</u> に
331 ページ 上から 13 行目 337 ページ 上から 10 行目	・配線用遮断器の設置側極端子 …	・配線用遮断器の <u>接地</u> 側極端子 …
341 ページ 上から 3 行目左側の 写真		
360 ページ右段 問 7 解説文 6 行目	≒ 207 A	≒ 207 <u>V</u>

次ページに続く

箇 所	誤	正
365 ページ 右段 問 1/ 問 2 解説文 366 ページ 左段 問 4 解説文	P146 表「施設場所と工事の種類」参照	<u>P150</u> 表「施設場所と工事の種類」参照
361 ページ右段 問 16 解説文 1 行目	三相 3 線式電路の電力損[W] 失は	三相 3 線式電路の電力損失[W] は
366 ページ 右段 問 16：解説文と文字色	屋内配線と弱電流電線等とは接触させ ないように施設する.	屋内配線と弱電流電線等又は水管, <u>ガス</u> <u>管</u> 等とは接触させないように施設する.

フルカラーでわかりやすい

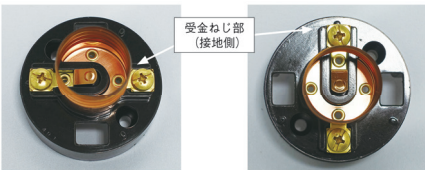
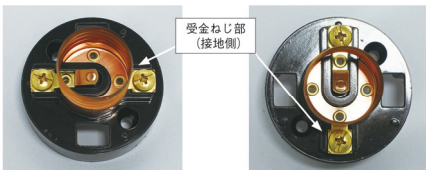
第二種電気工事士らくらく学べる筆記 + 技能テキスト 改訂 4 版 1 刷 正誤表

2017 年 12 月 8 日改訂第 4 版第 1 刷発行

コード：21458 更新日：2026 年 8 月 10 日

箇 所	誤	正
前付 -12 最下段	$\cdots 3 = \frac{6}{3}, \cdots$	$\cdots 3 = \frac{6}{2}, \cdots$
23 ページ 4 行目の式 文字右端の欠け	最大値 = $\sqrt{2}$ × 実効値 ↑	最大値 = $\sqrt{2}$ × 実効値 ↑
51 ページ 問題のヒント：問 37	$\cdots I = \frac{V^2}{R} \cdots$	$\cdots I = \frac{V}{R} \cdots$
54 ページ 右段 上から 6 行目	電圧降下 = $3 \times rI$ [V]	電圧降下 = $\sqrt{3} \times rI$ [V]
79 ページ 問 15 選択肢口：4 行目	で，設置工事を省略した。	で， <u>接地</u> 工事を省略した。
80 ページ 問題のヒント：問 16	1 線あたりの電力損失は抵抗 X (線電流) ² で求められる。	1 線あたりの電力損失は <u>抵抗</u> ×(線電流) ² で求められる。
100 ページ 問題のヒント：問 14	電動機の定格電流の合計は 10A なので 1.25 倍すると 12.5A になる。	$I_M < I_H$ なので，すべての定格電流を 合計すればよい。
136 ページ 表中 左列：上から 3 行目	30A 以下 <u>50A 以下</u>	30A 以下
144 ページ 問 15 問題文：1 行目	低圧電路に使用する定格電	低圧電路に使用する <u>定格電流</u>
178 ページ 上から 9 行目	・電線と造営材との離隔距離は，6000V 以下の	・電線と造営材との離隔距離は， <u>展開</u> <u>した場所</u> で使用電圧 6000V 以下の
238 ページ 表中央列 上から 4 ブロック目	内臓スイッチ	内 <u>蔵</u> スイッチ
242 ページ 表外下段 右の文章を削除	パイロットランプの複線図の解説や書き方は，P320・342・346 を参照してください。	
250 ページ 上から 12 行目	各材料の使用例は P168 …	各材料の使用例は <u>P169</u> …
252 ページ 上から 17 行目	各材料の使用例は P160 …	各材料の使用例は <u>P161</u> …
259 ページ 問 22 の選択肢	イ. R □. B ハ. 1 ニ. 0	イ. R □. B ハ. <u>I</u> ニ. <u>O</u>

次ページに続く

箇 所	誤	正
266 ページ 左段 上から 4 ブロック目 名称, 用途, 図記号	名称 15A・20A 兼用コンセント	名称 15A・20A 兼用 <u>接地極付</u> コンセント
	用途 接地極と接地端子が付属して いるコンセント	用途 接地が必要な器具のコンセントと して用いる(定格 15A・20A 兼用)。
	図記号 	図記号 
282 ページ 左最下段 TS カップリング: 用途	合成樹脂管相互の接続に用いる。	合成樹脂管(<u>VE 管</u>)相互の接続に用いる。
328 ページ 下段左側 写真の説明文: 1 行目	握りなおさずに引っ張ると被服に	握りなおさずに引っ張ると <u>被覆</u> に
331 ページ 上から 13 行目 337 ページ 上から 10 行目	・配線用遮断器の設置側極端子…	・配線用遮断器の <u>接地</u> 側極端子…
337 ページ 下段 ランプレセプタクルの 写真		
341 ページ 上から 3 行目左側の 写真		
354 ページ 右段 問 7: 解説中数式	$I = \frac{V}{R} = \frac{120}{(50+50)} = \frac{120}{100} = 120\text{A}$	$I = \frac{V}{R} = \frac{120}{(50+50)} = \frac{120}{100} = \underline{1.2}\text{A}$
360 ページ右段 問 7 解説文 6 行目	≒ 207 A	≒ 207 <u>V</u>
361 ページ右段 問 16 解説文 1 行目	三相 3 線式回路の電力損 [W] 失は	三相 3 線式回路の電力損失 [<u>W</u>] は
361 ページ右段 問 16 解説文 3 ～ 4 行目	流を $I[\text{A}]$ とした場合, $3 \times IR^2$ で求め られる。ゆえに $3 \times 0.15 \times 10^2 = 45\text{W}$	流を $I[\text{A}]$ とした場合, $3 \times I^2 R$ で求め られる。ゆえに $3 \times 10^2 \times 0.15 = 45\text{W}$
363 ページ 右段 問 14: 解説文	電動機の定格電流の合計は 10A なので 1.25 倍すると 12.5A になる。これに電熱器 2 つ の合計 35A を加えると 42.5A となる。	電動機の定格電流は 10A, 電熱器の定格 電流の合計は 35A. $I_M < I_H$ なので, すべ ての定格電流を合計すると 45A となる。
365 ページ 右段 問 1/ 問 2 解説文 366 ページ 左段 問 4 解説文	P146 表「施設場所と工事の種類」参照	<u>P150</u> 表「施設場所と工事の種類」参照
366 ページ 右段 問 16: 解説文と文字色	屋内配線と弱電流電線等とは接触させ ないように施設する。	屋内配線と弱電流電線等又は水管, <u>ガス</u> <u>管</u> 等とは接触させないように施設する。